夏の味覚！みよしの果実

三好の特産品のカキ・ナシ・ブドウ。町内では、果樹農家の皆さんが日ごろから丹精込めておいしい果実をつくっています。

三好町では、毎年7月中旬から10月上旬にかけて、夏の味覚、ナシとブドウのおいしい季節。今回は、三好の夏の果実について紹介します。

◀みよしのナシ
主な品種…幸水（こうすい）、豊水（ほうすい）、新高（にいたか）など
栽培面積…44ha
収穫量…848t（平成17年データ）

三好町は、温暖な気候と名古屋市などの大きな消費地の近郊にあることで、地域の特性を生かしたさまざまな農産物が作られています。その中でカキ・ナシ・ブドウは、まちの特産品としてブランド化を進めてきました。

今年のナシ・ブドウは、春に低温が続いたことが影響し、収穫は少々遅れ気味。しかしその後の真夏日の連続で、出来は十分です。グリーンステーション三好や各農家の直売所が開かれ、たくさんの人が三好の果実を楽しんでいます。

農家の皆さんがよりおいしいものをつくろうと日ごろから研究努力を続けている三好の果実。口いっぱいに広がる甘みとこくをぜひ味わってみてください。

子どもたちに三好の果実について知ってもらおうと8月10日、ナシのもぎ取り体験と栽培についての説明が町内農家で行われた

みよしの果実

小野田尊禧（たかよし）さん（明知下）

昭和25年から本格的にブドウの栽培を開始。現在もさまざまな品種に挑戦し続ける小野田さん。「何よりも皆さんに喜んでもらえるよう、わが子を育てるように愛情込めてつくっています」。「冷凍庫に入れて凍らせて、シャーベット状にして食べるとおいしい」と特別な食べ方を教えてくれました。

ＪＡあいち豊田三好営農センター 営農専門技術員　小野信行さん

愛知県農業技術課や農業総合試験場などに勤務。その後、県農業大学校の講師、町内では一般の人も対象にした、果樹のせん定や摘果講習の講師なども務める小野さん。「三好町の果実は、農家の皆さんの日ごろの努力で、おいしいものがほかの地域より早く食べられるのが特徴。栽培技術が高く、研究熱心な人ばかりです。つくっている人の顔が分かり、安心、安全な果実は自信を持って、町外にも出荷しています。三好の果実をより多くの人に食べてもらいたいですね」と話します。

▶みよしのブドウ
主な品種…デラウェア、巨峰など
栽培面積…43ha
収穫量…363t（平成17年データ）

ＪＡあいち豊田 グリーンステーション三好▶
平成２年から産地直売で町内での消費拡大を図っている

▶販売スケジュール
ブドウ…７月中旬～９月上旬
ナ　シ…７月下旬～10月上旬
カ　キ…10月中旬～11月中旬
モ　モ…７月上旬～下旬
メロン…６月中旬～７月下旬
スイカ…６月中旬～７月下旬

旬の果実を求めて、たくさんの人が訪れるグリーンステーション三好

心の通う対話の町政 進行中

VOICE

三好町では、町民の皆さんからの町政に対する意見を町長が直接お聴きする、対話集会「皆さまと語る会」を開催したり、提言箱や電子メールなどを通して「皆さまの提言」をいただいたりすることによって「心の通う対話の町政」を進めていこうと努めています。このコーナーでは「皆さまと語る会」で寄せられた意見と町長の発言要旨や「皆さまの提言」に寄せられた意見のうち、主に生活にかかわる内容の意見と回答を紹介しています。

今回は7月16日に「夢と緑と活力あるまちづくり」をテーマにして、北部地区コミュニティーで開催した「皆さまと語る会」で寄せられた意見と町長の発言要旨を抜粋で紹介します。

◇北部地区コミュニティー

7月16日(日)黒笹公民館
80人参加

意見　黒笹小学校開校による通学路の安全対策について

来年度、黒笹小学校が開校します。①福谷区内で三好丘小学校から北部小学校に校区変えになる児童がいますが、通学路の危険個所にガードレールを設置できませんか。②交通指導員の配置場所はどのように決められるのですか。③新しく通学路になる場所に明確にスクールゾーン表示をしてほしい。④スクールガード（学校安全ボランティア）の配置をお願いします。

平成19年４月の開校に向けて整備が進められている黒笹小学校

町長　安全面に十分考慮して通学路の点検をしています

安全・安心なまちづくりは非常に大切なことです。①三好丘小学校から北部小学校に校区変えになる児童がいることは承知しています。現在それに伴う通学路の点検を行っています。通学路は、町と学校とPTAで話し合って決めていきます。事前に危険個所の連絡も受けています。時間帯によって交通量が多くなる個所でガードレールのない場所も把握しています。ガードレールの設置について、安全面に十分に考慮していきます。②通学経路が変われば、それに合わせて交通指導員に立ってもらう場所も変えなくてはならないので、交通指導員と話し合って検討します。③スクールゾーンは明確に示していきます。④スクールガードについては、地域や保護者の皆さんの協力が必要です。安全対策について、学校と地域が一体となって取り組んでいきます。

意見　町としての防犯対策の考え方について

福谷地区においても犯罪が多発しています。犯罪抑止のため、行政区で防犯カメラを設置したら、町からどのような支援が受けられますか。また町として防犯対策をどのように考えていますか。

町長　行政と地域、警察が一体となり安全・安心なまちをつくりたい

犯罪抑止のために防犯カメラの設置を町でも検討しましたが、さまざまな問題があり困難です。行政区で防犯カメラを設置した場合、町からどれくらい補助ができるかについて、現在は白紙の状態で、もし今後そういう状況になれば検討する必要があると考えます。

町内でも、白昼に民家で強盗事件が発生し、いつどんな事件が起きるか予測できない状況にあります。現在町内で18の自主防犯組織が活動していただいていま

北部地区コミュニティー（7月16日：黒笹公民館）

す。警察でも警察官の数を増やしていますが、犯罪の数は減っていません。行政と地域、警察が一体となって安全・安心なまちにしていかなければならないと思います。

意見　子どもたちの安全対策について

愛知県教育委員会の指導で行われた学校緊急連絡網伝達訓練について、PTAなどには連絡がありませんでした。県教育委員会からの指示だけによる指導を行うのではなく、三好町教育委員会として子どもたちをどう守っていくか、地域やPTAと協議して方向性を見つけていくような手順を考えてほしい。

町長　地域でも協力していただけるようお願いします

教育委員会に伝え、よく話し合って進めていきます。地域で協力してもらえる部分は協力していただきますようお願いします。

意見　成人検診について

乳がんや子宮がん検診料の補助対象者が、ここ数年で偶数年齢時のみとなりました（補助が隔年になってしまう）。毎年補助していた時の受診率はどのくらいですか。自己負担金を少し増やしても、毎年受診できるようにしてほしい。

町長　対象者すべての人が受診できるよう対応しています

受診率は、平成12年度と16年度の比較で、乳がん検診が12・3％から18・4％、子宮がん検診が12・4％から22・7％へ増加しています。すべての年齢で受診するのが理想ですが、今は偶数年という考えで進めており、偶数年の対象者すべての人が受診できるよう補正予算の計上も含めて対応しています。受診率も上がっており、乳がん検診では新しい機器の導入も視野に入れ努力していきますのでご理解をお願いします。

意見　学校給食の残さいについて

学校で給食の残さいが多いということですが、アレルギーのある子はあらかじめ把握しているのだから、その分を減らして給食を作ればよいのではないでしょうか。

町長　アレルギーのある人数を学校で把握し給食数に対応しています

アレルギーのある子は学校で把握し、給食もそのように対応していると聞いています。教育委員会にも、しっかりと伝えていきます。

意見　新総合計画について

①新総合計画の作成スケジュールを教えてください。②三好町の緑が減り続けています。緑地に関する50年後、100年後を見据えた長期的なビジョンを新総合計画の中で示してください。③黒笹に道路のような形態をした愛知用水の敷地があります。近隣市町では散策道やせせらぎ公園が整備されています。三好町でもこうした空間を有効的に活用することはできないでしょうか。

町長　平成21年に公表していきます

①新総合計画は平成21年に公表していきます。平成18年度は総合計画策定本部（庁内組織）の設置、総合計画審議会委員の人選と審議会の設置を行い、まちづくりの課題を整理します。審議会委員は4人を公募により選出することになっており、広報7月15日号で募集案内を出しました。平成20年度当初には基本構想と基本計画の原案ができるように進めていきます。②三好町の山林は5％ほどで、そのほとんどは個人の土地です。個人の土地についての保全は難しいところもありますが、ご指摘のとおり50年後、100

年後を見据え、緑をどのように残していくかを、新総合計画の中で示していきたいと考えています。③福谷の境川沿い付近に愛知用水の敷地があり、そこでせせらぎ施設を造る具体的な計画があります。今後もほかの所で出来ないか愛知用水土地改良区と話し合いながら検討します。

意見 福谷落合交差点の黒笹方面からの右折車線の整備について

福谷落合交差点で、茆生辰己山方面からの通過車両が増加していて、黒笹方面から来た車両がなかなか右折できません。通勤時間帯は大変渋滞するため、農道や北部小学校の通学路を抜け道として通過する車両も増えていて危険です。辰己山の住宅開発が行われると、さらに交通量が増加することが予想されるので、黒笹方面からの右折車線を整備してほしい。

県道米野木茆生線の黒笹方面から来た車両で渋滞する福谷落合交差点

町長 地域の要望として提案をお願いします

右折車線をつくるのは大変困難で、すぐにはできません。将来の計画の中には取り入れていきたいし、地域からの要望としても提案をお願いします。

意見 住宅街における大型車両の通行規制の考え方について

黒笹の区画整理事業区域内の都市計画道路黒笹線の道路沿いに住んでいますが、住宅地の奥に工業団地と土砂砕石置き場があります。そのためダンプや作業用トラックなど大型車両の通行時の騒音に困っています。この住宅地の開発計画の責任者は誰で、通行規制についてどのような対策を考えていますか。

町長 道路の通行規制について警察と協議していきます

区画整理事業は組合施行で行われていますが、町もプラン策定にかかわっています。愛知県の指導も受けながら実施して、認可も受けました。昨年度も通行規制ができないかという意見を聞きましたが、主要道路のため規制はできません。制限や規制について警察などの協議を含めて、できる限り手を尽くしていきます。

意見 交通量や騒音調査などについて

信号機の設置や通行規制をするのは警察の管轄ですが、三好丘緑地区の三好ケ丘駒場線で町が交通量調査を行ったように、黒笹の住宅地内の道路の交通量や騒音がどれくらいなのか、どこに行く車両が原因なのかという現状を明らかにすることを、町は行うべきではないか。

町長 安全のためにどうするかを最優先に考えていきます

信号機の設置を警察に要望するのに伴う交通量調査は実施していきます。その調査によって道路の現状をすべて明らかに調査したことにはならないかもしれませんが、皆さんの不安を少しでも取り除くように、安全のためにどうするかを最優先に考えていきます。

意見 今後の国際交流事業についてどのように進めていきますか

三好町は国際交流協会や教育委員会を中心に国際的なイベントを幅広く行っていることに感心しています。3年前まで国際レディースカヌー大会を10年間開催し、2年前は世界カヌーポロ選手権、昨年は万博の関連でベリーズとの交流など、

9月4日(月)午前8時から、コミュニティーFM、ラジオ・ラブィート(78・6MHz)の「みよしモーニングニュース」で、久野町長がコラムの内容を話題に生出演します。

コラム column

連載第㊼回

三大夏祭りを終えて

今年の三大夏祭りも無事に終えることができました。祭りは実行委員会をはじめ、かかわっていただいた多くのボランティアの皆さんのご努力とご協力のおかげと深く感謝いたします。

まずは2万5千人の人出のあった8月5日の三好池まつり。今年は梅雨が長く三好池は満水で、7隻の提灯舟(ちょうちんぶね)も順調に池を巡ることができました。自慢の花火、水中スターマインも安全面を考え、モーターボートの移動方式から固定式に変更し、打ち上げスターマインと競演する形で30発を一斉点火。時間は短くとも、より華やかさを増すようにと、要望の多かった金魚花火を復活しました。昨年は渇水のため、舟を浮かべることができませんでしたので、今年こそはと待ち望んだまつりでした。水面を吹き抜ける風もさわやか、ただ欲を言えば風向きが少し変わっていれば、ナイアガラ花火ももっと見事だったでしょう。

19日、20日はいいじゃんまつりと大提灯(おおちょうちん)まつり。雨を心配しましたが、にわか雨も午後からは晴れ、時折風の吹く最高の天気の中、2日間で8万7千人の人出でした。

大提灯は長い伝統があり定着していますが、いいじゃんまつりはまだ14回。新旧の住民の皆さんの交流を図ることが最大の目的と思っていますが、回を重ねるごとに参加者も増え盛大になってきました。会場は道路を一時封鎖して利用するので時間の制限があり、参加者は最大60グループ4千人が限度。今年は57グループ3、600人の参加でした。今回初参加が8グループ、初回からの連続参加が7グループでした。どのグループも見事にまとまり、努力の跡が見え、この団結力こそいざという時強い力となることでしょう。

木曽の水をいっぱいにたたえた三好池、〝いいじゃん、いいじゃんよい三好〟と声高らかに、今年も平和に夏祭りを終えることができました。先人に感謝でございます。

三好町長 久野知英

さまざまな国際交流事業を行ってきましたが、今後の事業はどのように進めていきますか。また町制施行50周年の記念行事として、カヌーを中心とした国際的なイベントを復活してもらいたい。

町長

多くの外国人と住民の皆さんとの自発的な交流に力を貸します

世界カヌーポロ選手権の開催には多大な経費が掛かりました。また国際レディースカヌー大会は当初海外選手の交通費を支援していましたが、自己負担にしたら参加する国が少なくなってしまいました。町制50周年に向けての具体的な計画はまだありませんが、国際的な大会を開催するのは経費の面からもかなり無理があると考えています。

交流事業は現在、中学生のコロンバス市派遣、中国への町民海外派遣などを行っていますが、国際交流については、三好町から一方的に海外へ行くだけではなく、いかに多くの人に海外から来てもらい住民の皆さんと交流をしてもらうかということが重要と考えています。今年、コロンバス市の高校生を中心とした16人のグループが、費用を自分たちで工面し三好町を訪問されました。こうした自発的な交流が真の国際交流だと思うし、このような活動に町としても力を貸していきたいと思います。

皆さんからの提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さんからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。

▶**設置場所**＝役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

※なお提言は「皆さまの提言箱」のほか、次の方法でも受け付けています。

①電子メール…✉ teigen@town.aichi-miyoshi.lg.jp

②ファクス…FAX(32)2165

③郵便…〒470-0295 三好町役場広報情報課あて(住所不要)

広報情報課☎(32)8357